

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2001/07/25 Vol. 74 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 13 年第 2 回定例会報告 (5)

いつもお世話になっております。印西市議会(6月定例会)は、22日(金曜日)で閉会しました。今回は、6月議会での私の一般質問と市当局の回答、人事案件を中心にご報告をさせていただきます。

今回も、「青少年の自主的活動への積極的支援」についての私の質問/市の回答を引き続き、ご報告させていただきます。

6/7(木曜日)に、代表質問に立ちました。以下、市当局の回答です。

1. 青少年の自主的活動への積極的支援について

青少年がさまざまな自主的活動を行うためにはふさわしい場所や機会の提供が必要であると考える。印西市ではどのように配慮し、支援を行っていくのか？

児童館の夜間、祝祭日の開館についてどのように考えるか？

(回答要旨/市長)

市内にございます中央駅前児童館及びそうふけ児童館は公民館との複合でございます。

市民が、安全に施設を利用していただくためには、安全性の確保が重要でございますので、児童館の夜間及び祝祭日の開館につきましては、現段階では難しいものと考えております。

(ぐんじとしのりからの市への意見/再質問(市からの回答)要望 - 概要)

「安全に施設を利用することができないから」、夜間や、祝祭日の開館ができないとは、どのようなことでしょうか？市役所の職員を配置するのに、危険な場所があるということは、通常の開館時も問題になるのではないかと。

(回答/保健福祉部長) 児童館の設置目的が児童の健全育成を図る為に遊びを指導することにあり、単に場所を提供していることではないことに関係いたします。(印西市の)児童館は小型児童館であり、複合施設の中にあることから、児童館単独での開館については、施設を管理する側としては対応できないことから、ご了解いただきたい。

6月議会での人事案件について

私は、今回の議会で以下の委員会/審議会に委員として参加することとなりましたので、皆様にご報告申し上げます。(任期は2年です。)

* ニュータウン対策特別委員会

千葉ニュータウンに関する事項を、公団や企業庁と共に協議していきます。

* 高校問題協議会

印西市に一つ(印旛高校)、千葉ニュータウンでも一つ(白井高校)しかない高校に対して、新設を求めて、千葉県や関係機関と協議していきます。(私は、高校から大学ま

で進学できる高校の新設をも、視野に入れて活動しております。)

*** 環境審議会**

印西市の環境行政に関する事項を諮問を受けて、研究討議し、答申します。
(環境基本計画の策定に関わってまいります。)

*** 住所表示審議会**

印西市内の住所表示を分かりやすくするために、諮問を受けて、研究討議し、答申します。
(今後、牧の原駅北側や東側等ニュータウン地域を中心として、業務開始や入居開始を契機に住所表示の検討を行います。)

ニュータウン対策特別委員会は初めての職務ですが、他の審議会等は、2年前より引き続いての職務執行になります。
(それぞれの委員会 / 審議会等が開催された際には、討議内容をご報告させていただきます。)

堂本暁子知事への応援ありがとうございました。

7月9日(月曜日)に赤坂プリンスホテルにて、「堂本知事を囲む夕べ」があり、出席させていただきました。当日は8000人近い方々の出席があり、浅野史郎宮城県知事(公務を17時に終わられて)の出席も見られました。
堂本知事とは、殆ど話しをする時間はございませんでしたが、秘書の方と北総公団線の問題、千葉ニュータウンの開発等について、意見を交わしました。今後も引き続き、改善要望として伝えて参ります。

応援しています “民主党 にしこおり淳”

12日より、選挙戦に無事突入することができました。これも一重にみなさまのおかげと感謝申し上げます。(出陣式には事務所に入りきれず、階段まであふれるほど多くの方々に、ご出席いただきました。)また、20日(祝日)にはNT中央駅にて街頭宣伝活動をさせていただきました。

にしこおり淳<基本政策>

未曾有の危機に直面する日本の経済と財政。経営手腕と感覚を遺憾なく発揮し、迅速に立て直しを図ります。同時に、時代遅れの旧来型の政策を垂れ流す政策形成システムを改めます。また、福祉・環境・安全保障といった重要政策にも、真剣に取り組みます。
(以下に政策が詳細に記載されております。)

公式ホームページ <http://www.nisikoori.com> / (選挙期間中は更新できません。)

環境・産業再生について

弁護士として水俣病裁判に取り組み、政治家として中海・宍道湖を救ったにしこおり。現在、弁護団団長として精力的に諫早干拓によって損害を受けた漁民を救済する弁護活動を行い、諫早湾・有明海の危機脱出へ奮闘しています。(「小泉首相」は、「構造改革」を叫びますが、住民が求める諫早湾の水門さえ、開けられていません。首相の一言で開くはずですが、依然として農水省の役人のいいなりになっているのではないのでしょうか?)

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回も引き続き、定例会の報告を行って参りたいと思います。この紙面へのご批判、ご意見、また市政へのご提言をお待ちしております。よろしく願い申し上げます。
ぐんじとしのり